

紙面の都合上掲載出来なかった記事や写真をホームページ上にて公開しているので、ぜひご覧ください。ホームページへは「八幡自治会館」検索



【編集・発行】
八幡地区コミュニティ
運営協議会
【事務局】
八幡自治会館
TEL: 72-0033

映画「破戒」を鑑賞 人権役員研修

全国水平社創立100周年の記念映画として上映されている「破戒」を、7月25日に久留米市において八幡地区人権教育推進協議会の役員で鑑賞しました。また、同日久留米市の人権啓発センターで館内展示物の見学をしました。



この戒めを破り
明日を生きる

「破戒」は島崎藤村の不朽の名作であり、水平社創立100周年の企画の一環で60年ぶりに映画化され全

なぜ自分の故郷を語れない。
なぜ好きな人に気持ちを伝えることができない。



久留米市人権啓発センターのある建物で

国ロードショーとして封切られています。映画のあらすじは、主役の瀬川丑松が、自分が被差別部落出身ということを知り、小学校の教員になります。彼は出自を隠し通すよう父から強い「戒め」を受けていました。生徒に慕われる良い教師であったが、出自を隠していることに悩みながらも、下宿先の士族出身の女性・志保に思いを寄せていくよ

うになります。丑松は苦しみの中、ある事件をきっかけに丑松はいよいよ決意をし、教え子たちの待つ最後の

の教壇へ向かいます。この映画は、当時の部落差別がさも当然のごとく行われていた様子がわかり、観る人の心に感動を強く訴えます。部落差別についてピンとこない方はもちろん、深く知りたい方、どんな方にもぜひ見ていただきたい内容でした。もう一つの研修先である

久留米市の「人権啓発センター」では、館内の展示物の内、入口正面に大正11年（1922年）3月に「全国水平社」創立大会で読み上げられた「水平社宣言」が展示されていました。

「人は生まれながらにして平等な存在である」という理念から、その宣言の最後の「人の世に熱あれ、人間に光あれ」には、被差別の立場にある人々の強い願いに思いをはせるとともに、一人ひとりが差別をなくす行動を続けていくことの大切さがうたわれています。

盆踊り大会中止のお知らせ

八幡地区の夏の賑わいとして開催を予定していた「八幡地区盆踊り大会」ですが、新型コロナウイルスの感染者数が急激に増加したことを鑑み、今年開催も中止の判断となりました。

徴収いたしました賛助金は翌年へ繰越させていただきます。決算書につきましては、監査終了後、9月自治委員文書にて各自治委員様に通知いたします。

楽しみにしていた皆様、大変申し訳ございません。来年こそは開催できるようにコロナの収束を祈るばかりです。